

私立から公立に移管し50年 柏台小の歩みを振り返りかえる

柏台小学校が公立移管50周年記念式典を開催



柏台小の公立移管50周年記念式典には約140人が出席しました

柏台小学校(穂積恵祥校長、児童60人)は、本年度公立移管50周年を迎え、7月9日に記念式典と祝賀会が開かれました。式典には、児童や父母、卒業生や教育関係者など約140人が出席しました。式典では道尻和彦実行委員長、穂積恵祥校長の式辞に続き、穂積校長があいさつ。田村正彦市長と高橋北英教育長が祝辞を述べました。同校の総合学習の一環として田植え体験に毎年協力している古館栄一さんに、感謝状が贈られました。全校児童は「喜びの言葉」と



イーハトーブの風を全校で合唱する児童たち



柏台小学校の田植え学習などに協力している古館栄一さん(松尾奇木)に感謝状が贈られました

題し、同校の伝統と文化を築いた先輩たちに感謝を述べたほか、新たな伝統を築き上げることを誓い、イーハトーブの風を合唱しました。柏台小学校は昭和14年、私立松尾山尋常高等小学校校屋敷分校として開校。昭和31年に私立から公立に移管し、松尾村立屋敷台小学校として歩み始めました。昭和35年には最も多い761人の児童が入学。移管後は卒業生1783人を送り出しました。記念事業として6月25日に記念植樹、タイムカプセルを校庭に埋設したほか、実行委員会は同校に鉄棒とスノーモービルを贈呈する予定です。記念行事として10月29日に学習発表会、卒業生による記念講演を計画しています。

みんなの作品 ～東大更小～



4年 三浦 悠斗くん



2年 田村 一希くん



6年 瀬川 博貴くん



習字「東」



絵画「青玉黄玉はこび」



工作「ヒロコプター」

ZOOM UP



「負けたくない強い気持ちの結果につながった。優勝できてうれしい」中村由美子さんは声を弾ませた。競技歴4年で全日本女子チームライフル立射(7月8日)を制した。県勢初の優勝という快挙だった。予選トップ通過は「大きなプレッシャーになった」と本音を語るも、同じ19歳の友人竹下美琴さん(宮城)との同点決勝へ駒を進めた。「今年調子が良い。絶対当たる」自分を信じて放った一撃がど真ん中を射抜く。家族、友人、同僚の祝福が、中村さんをプレッシャーから解放した。チームライフルは直径1ミリの的(10点を10発先から狙うシビアな競技。プレッシャーに負けない精神力と集中力が試される。「今年の最大目標は国体優勝」ときっぱり言い切った中村さんは「オーバーワークに気を付けたい」と言いながら2時間弱、もくもくと的を撃ち続ける。照準はすでに国体優勝へ狙いを定めたようだ。

中村由美子さん

●なかむら・ゆみこ 荒屋小、安代中、平館高を卒業後、平成17年から北館製麺・北の蕎麦屋で接客を担当。射撃は高校入学時に、友人の父から「国体に出場できるぞ」と勧められ始める。めきめき頭角を現し、競技歴4年で全日本女子チームライフル県勢初の優勝に輝いたほか、東北選手権大会3位(高2)、JOCジュニア五輪カップ5位(高3)、岡山国体5位(17年)に入賞。ドライブで気分転換をする19歳。普段はマイペースなO型。両親、兄、妹、祖母の6人家族。荒屋新町在住。

広報クイズ No.11 8月3日号の問題

全日本ライフル射撃で優勝した選手は?

正解者の中から抽選で3人に500円分の図書カードをお贈りしますので、どしどしご応募ください。
◎応募方法 はがき、ファクス、メール(パソコン、携帯電話)に「答え、住所、氏名、年齢、行政区」を書いて応募してください。また、答えのほかに、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。
◎応募期限 8月18日(金) 消印有効
◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」
☆はがき 〒028-7192(住所不要) ☆ファクス 75-0469
☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp
*メールのタイトルに必ず「広報クイズ」と入力してください。
◎第10回の正解 「3(連覇)」 ◎応募者数 13人 ◎正解者数 13人
◎当選者 伊藤雄大さん(大更)、山崎夢郁さん(大更)、伊藤央夏さん(西根寺田)